

臨床研究のお知らせ(説明文書)

酸化マグネシウムの1日服用回数の変更が緩下作用に与える影響

1. 研究の目的・意義

酸化マグネシウムは、腸内で水吸収を引き起こすことで便回数を増加させる浸透圧性下剤として慢性便秘症の患者さんへ広く使用されています。

酸化マグネシウムの説明文書には、通常成人1日2gを3回に分けて、又は就寝前に1回服用することが記載されていますが、1日の投与量を同量のまま、1日服用回数を減らすことによる緩下作用への影響について検討された報告はありません。

今回の研究では、医師の指示のもとに、酸化マグネシウムの1日の投与量が同量のまま、1日服用回数が1日3回から2回または1日2回から1回へ変更となった場合の緩下作用への影響を過去の調剤録の記録をもとに調査することで、患者さんの服薬負担の軽減を図ることが可能か否かを検討することを目的としています。

2. 研究の対象・方法

- (1)2020年4月1日から2022年3月31日の期間に、くるみ調剤薬局いまいけ店の薬剤師が往診同行している介護施設に入所し、便秘症にて酸化マグネシウムを服用している患者さんを対象とします。
- (2)薬局に管理されている調剤録の記録をもとに、年齢、性別、身長、体重、血液検査値、服用薬剤、排便状態、腹部症状の有無について調査を行います。

3. 研究への参加とその撤回について

この研究への参加は、同意をいつでも撤回することができます。拒否・撤回をしても、不利益を被ることはありません。

4. 個人情報の保護について

今回の調査では、回答者の氏名や生年月日などの調査は行わないため、個人情報が特定されることはありません。また、個人情報保護法に基づき、本研究により得られた調査結果の取り扱いには十分注意し、愛知学院大学薬学部臨床薬学講座において、パスワードを設定したファイルに記録し、USBメモリに保存して、薬学部事務室にて、鍵のかかる金庫に保管します。

5. 研究結果の公表について

この研究で得られた成果は、国際・国内学会発表や論文発表を予定しております。その際、個人を識別できる情報は一切含みません。

6. 研究の資金

この研究は、講座の研究費を用いて実施します。研究の計画、実施、報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。

7. 研究を担当する薬剤師および健康被害が発生した場合の連絡先

この研究のことで何か分からないことや心配なことがありましたら、いつでも、こちらに記載されている薬剤師または相談窓口にお尋ねください。

研究責任者(薬剤師):准教授・渡邊法男

連絡先:052-757-6766 (愛知学院大学薬学部臨床薬学講座)